

## 第2学年 学級活動指導案

### 1 題材 学級生活の充実

#### 2 題材設定の理由

前回の学級活動で議題募集を行ったところ、学級の問題点について話し合いたいという生徒が何名か見受けられた。そこで今回、改めて学級生活に関するアンケート調査を実施した結果、一部の生活において生徒自身が問題に感じていることがわかった。2学期も半ばを過ぎ、学校行事も一段落する時期である。この時期に学級を生徒自身が振り返り、問題点を改善すべく話し合うことは、互いに居心地の良い学級生活を送るためには重要であると考え本題材を設定した。

#### 3 生徒の実態（男子10名 女子 12名 計22名）

##### 【これまでの学級活動の様子より】

今回で学級活動（話し合い活動）は6回目を迎えるが、自分の考えを積極的に発表できる生徒は少なく、司会グループ（学年生徒会）も、その進行の仕方については十分であるとは言えない状態である。さらに、自分が発言しなくても誰かが決めてくれるだろうという無関心な生徒も見受けられるなど、多くの課題が山積している。このような実態を踏まえ、前回の学級活動では司会グループの輪番制、小集団で話し合ったことを全体に提示していく形態、意見カードへの教師のコメントの記入など、いくつかの施策を行うことにより、話し合いが活発になることをねらった。授業後のアンケート調査では、楽しく取り組むことができたと答えた生徒が84%おり、その理由としては「話し合いに自分も参加できた」という回答が最も多かった。また、教師による意見カードへのコメントの記入が発表への励みとなったと答えた生徒が89%、小集団での話し合いが発表への励みとなった生徒が84%おり、十分であるとは言えないが、いずれもその成果が見受けられた。

##### 【自己評価を集計した結果より】

※よくできたを3点、よくできなかったを1点、どちらとも言えないを2点として集計。

自己評価項目	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	平均
①まじめに考えることができたか。	69%	72%	72%	71%	76%	72%
②友達の意見をきちんと聞けたか。	71%	76%	78%	76%	79%	76%
③自ら進んで発表することができたか。	67%	69%	72%	65%	72%	69%
平均	69%	72%	74%	71%	76%	72%

第1回…学級目標を決めよう。

第2回…第1回学級集会を企画しよう。

第3回…第2回学級集会を企画しよう。

第4回…体育祭のスローガンを決めよう。

第5回…学年集会の内容を提案しよう。

##### 【本時の課題と施策】

- ①まじめに考える…前回の話し合い活動では向上が見られたが、最も大切な姿勢であり、十分であるとは言えない。アンケート結果を提示するなど、話し合いのねらいを明確にすることで向上を目指したい。
- ②友達の意見を聞く…3つの評価項目の中では一番数値が高いが、積極的に聞くという点では不十分である。全体での発表場面において事前に指導することにより意識させたい。
- ③進んで発表する…生徒にとっては最も抵抗感のある項目である。グループで話し合う時間をとるなどして進んで発表できるようにしていきたい。なお、グループ編成については、前回よりも人数を少なくし、小集団における発言の機会を多くしていきたい。

### 4 活動の過程

活動内容	月日	場	担当	活動内容	月日	場	担当
議題の提案	10/24	朝の会	学級全員	計画案作成	10/31	放課後	計画委員
議題整理, 決定	10/25	昼休み	計画委員	意見カード記入	11/1	朝の会	学級全員
議題発表	10/26	朝の会	計画委員	進行打合せ	11/8	放課後	計画委員
アンケート調査	10/31	朝の会	学級全員	学級活動	11/11	5校時	学級全員

5 本時の学習

- (1) 目標 現在の学級の問題点を洗い出し、その解決に向けて話し合うことにより、生徒一人一人が自らの生活を見直し、改善していこうという実践化への意欲を持つことができる。  
 (2) 準備・資料 ①意見カード ②話合いの柱 ③評価補助簿 ④アンケート調査の結果  
 (3) 展開

議 題	チェックしよう学級生活		
条 件	個人に対する非難はしない。解決策は、誰もが納得し、実現できるものとする。		
役 割	司会… , 副司会… , 黒板書記… , ノート書記…		
活 動 内 容	○教師の支援 ※評価	準 備	
1 はじめの言葉 (副司会) 2 議題の確認 (司会) 3 アンケート調査の結果を 発表する。 (担任)	○生徒に実施したアンケート調査の結果 (以下の14項目について、A…よくできている、C…できていない、B…どちらとも言えないで回答。①あいさつ、②朝読書、③朝の会、帰りの会、④授業のあいさつ、⑤授業中の態度、⑥時間を守る、⑦係活動、⑧日直の活動、⑨給食時の協力、⑩清掃、⑪休み時間の過ごし方、⑫男女の仲、⑬クラスの間関係、⑭学級目標。)を(1)(2)のような形で発表することにより、本時の議題に対する興味を持てるようにしていきたい。なお、その際には、生徒が自由に予想するなどの活動を取り入れることにより、過度の緊張をほぐし、自由に発言できる雰囲気をつくりたい。 ○(3)の結果については概ね良好であるが、「あまり良くない」「どちらとも言えない」と回答している生徒がいることにも注目させるとともに、(2)とも関連させながら学級の問題点を解決していく必要があることを捉えさせたい。また、このアンケート結果は、学級生徒の生の声であり、真摯に解決していく必要があることにも触れ本時の話合いに真剣に取り組んでいけるようにしていきたい。 ○前回よりも少人数のグループを編成することにより、自然に発言の機会が多くなるようにする。グループ編成については、問題点の中に「男女の仲」の項目があるため男女別とする。さらに生徒の間関係やリーダー性等も考慮しながらバランスのとれたグループ編成を行う。 ※課題解決に向けて協力しながら話合いができていくか。(観察) ○話合いに行き詰まっているグループには、教師が声をかけ、その問題点について助言を行うようにする。 ○「各自が気を付ける」「罰を与える」という意見が出るのが予想されるが、そのようなグループには、「本当にそれで解決できるのか」という投げかけをすることにより、さらに問題解決について深く考えさせたい。 ○能率良く進行させるため、グループごとに意見を画用紙にまとめさせておく。同じ意見については、黒板書記が整理し、わかりやすく提示できるようにする。 ○各グループから提案された改善策の中から、全員が納得し、実現できるものを選択していく。問題がある場合には、教師が助言をし、生徒に再度確認をする。 ○本時の話合い活動の意義について話をする事により、実践化への意欲が持てるようにする。	② ④	
(1)学級生活ベスト3 1 係活動 2 日直の活動 3 学級目標 (2)学級生活ワースト3 1 授業中の態度 2 男女の仲 3 朝読書、朝自習 (3)クラスに対する好感度 ・とても良い 7名 ・少し良い 10名 ・あまり良くない 1名 ・全然良くない 0名 ・どちらとも言えない4名			①
4 話合いをする。 (1)ワースト3の項目における具体的な問題場面とその要因、改善策について各グループで話し合う。			③
(2)各項目ごとに、グループでまとめた意見を発表する。			
(3)全体で話し合う。			
5 本時の活動を振り返り、カードに記入する。(各自)			
6 教師の話 (担任)			①
7 終わりの言葉 (副司会)			

(4) 評価の観点

本時の話合い活動を通し、自らの生活を振り返り、集団の一員としてよりよい生活をしていこうとする意欲が持てたか。

6 事後の活動への配慮

本時の話合い活動を踏まえ、自分自身の生活改善策を立てさせることにより、守らされているのではなく、自ら進んでよりよい学級づくりに貢献しているという意識が持てるようにする。また、2学期末には再度アンケート調査を実施し、自分たちの取り組みが評価できるようにする。